

令和7年度「実務経験のある教員等による授業科目」（共通教育科目）

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
共生社会とコミュニケーション（ノートテイクが開く世界）	志磨村 早紀	2	大学での障害学生支援室での実務経験、また、聴覚障害当事者の立場から、聴覚障害のある人々をとりまく社会の様相について解説します。
共生社会とコミュニケーション（聴覚障害者の文化と手話学）	森本 行雄	2	手話通訳士としての実務経験のある教員の指導により、聴覚障害者と手話に関する知識を具体的に学び、言語としての手話の位置づけを理解することが出来る科目である。
國學院の学び（『万葉集』を読むⅠ）	上野 誠	2	博物館設立に関わる諸委員、遺跡復元計画に関わる諸委員、公的研究所運営の実務（万葉古代学研究所副所長）などの経験から、研究に関わる実務について語ることが出来ます。また、萬葉学会編輯長、上代文学会理事等の就任経験から、学会運営の実務についても説明することが出来ます。
日本文化を知る（将棋と日本文化）	高野 秀行	2	将棋の歴史やその独特の礼儀作法を学ぶことを通じ、日本文化における「将棋」の役割について理解できるようにすること、および、実際に将棋を指すことによって考え抜く力を養うことを目的として、日本将棋連盟から高野秀行六段を講師として招いて講義を行っている。
日本文化を知る（日本中世の人間と宗教）	横田 光雄	2	自治体史編さんの実務経験を有する教員が、日本文化に関わる実務経験を活かして、日本中世の社会と宗教の関わりについての教育を行います。
日本文化を知る（礼法入門）	島村 淳子	2	小笠原流礼法の小笠原純子氏および島村淳子氏を講師として招いて講義を行っている。
日本文化を知る（和歌をまなぶ）	田中 章義	2	大学1年生の時に第36回角川短歌賞を受賞して以来、国内外のテレビ、ラジオ、新聞、雑誌等、様々な場で短歌を発表してきました。著作物は30冊以上。現在は、短歌など、いくつかの文学賞の選考委員もしています。
日本文化を知る（日本の都市社会）	黒川 徳男	2	図書館専門員・自治体史編さんの実務経験を有する教員が、都市史に関わってきた経験を活かし、都市社会についての歴史的変化について講義します。
ドイツ語Ⅰ（総合）	石井 寿子	2	ドイツ語の翻訳・通訳者として実務に就いた経験があります。
ドイツ語Ⅱ（総合）	石井 寿子	2	ドイツ語の翻訳・通訳者として実務に就いた経験があります。
データ・リテラシー	岡田 長治	2	IT企業での実務経験を持つ担当教員が、ICT社会における情報社会、およびデータ駆動型社会についての基本知識を講義する
こころとからだのリテラシー（メンタルヘルス・リテラシー）	内村 慶士	2	臨床心理士ならびに公認心理師の資格を有し、心理相談施設やワークショップ等での実践経験のある教員が、自分自身や身の回りの物事の理解に役立つメンタルヘルスリテラシー（また、それを扱う学問である臨床心理学）について学修する授業を行う。
政治と社会参加（子供たちの未来のために）	桔川 純子	2	担当者はNPOを運営しており、社会貢献をミッションとするさまざまな組織について、海外の事例も交えつつ、どのような社会で暮らし、どのような社会を創っていかたいのかを考え、持続可能な社会や地域づくりに必要な組織のあり方、ガバナンスの問題などについて考察する授業である。ワークショップも含む。

令和7年度「実務経験のある教員等による授業科目」（共通教育科目）

授業科目	教員氏名	単位数	実務経験に関する記載
政治と社会参加（アジアにおける開発援助と文化交流）	兼川 千春	2	東京都杉並区国際交流協会の企画運営委員、在イエメン日本大使館草の根無償外部委託調査員、東アジア移住共生映画祭（現・東アジア市民共生映画祭）企画実行委員、茶道裏千家淡交会ハノイ同好会幹事長兼指導者など。
Economics of Globalization I	駒木 克彦	2	通信社の記者・特派員として長く国際ニュースに携わった経験を基に分かりやすく解説する。
共通教育科目の合計単位数			30 単位